

# 平成3年度青年部総会開催

## 「切磋琢磨」をスローガンに事業を推進

青年部会長  
松井逸材



青年部通常総会懇親会



青年部通常総会・高市専務理事挨拶

当青年部も昨年四月四日に発  
足して以来、満一才になるわけ  
ですが、その間、商工会議所の

さて、我々を取り巻く環境を  
見てみると、景気はなお拡大基  
調にあるとはいえ、国際化、自  
由化、さらには著しい技術革新  
や情報化の進展、加えて最近の  
高齢化社会に伴う労働力不足  
等、大変厳しい状況にあります。  
これらのことを考えると、次代  
を担う青年経済人である私共  
に求められるものは、今後、益々  
大きくなるであろうし、動きも  
速いこれからの時代に対応でき  
るよう一層の自己研鑽に努めな  
ければならないと感じています。  
幸いに、そのような思いに充  
ちあふれている会員の方々と共  
に、この青年部において切磋琢  
磨できることは、この上もなく  
力強く、また喜ばしい限りです。

十六日(金)午後三時から、松  
山商工会議所大ホールで開催し  
た。  
総会には約四十名の会員が出  
席し、まず松井会長が「次代を  
担う青年経済人である我々に求  
められるものは今後ますます大  
きくなり、より一層の自己研鑽  
に努めていかねばならない」と  
開会の挨拶。  
続いて、松山商工会議所の高  
市専務理事が来賓として挨拶の  
後、松井会長が議長となって議  
事へ入り、平成二年度事業報告  
並びに収支決算報告・平成三年  
度事業計画・収支予算案につい  
て諮った結果、いずれも原案通  
り承認された。  
(決算・予算の概要は二面に掲  
載)

この後引き続き記念講演が  
おこなわれ、(勲)松山コンベン  
ションレビューロー専務理事の  
「日本におけるイベントの経済  
効果は多大なものであり、地域  
活性化を促進させるためには必  
要不可欠である。」  
又、見本市会場の設置も愛媛  
の経済を潤させる事が十分予測  
できる。  
人を流入させる事はイベント  
開催の初期の問題であり、これ  
らのイベントを誘致するにはそ  
の土地のイメージで左右される  
といったも過言ではない。  
そのため、松山コンベンショ  
ンレビューローでは松山市、愛媛  
県のPR及び情報提供を実施し  
てゆく計画である。  
諸々のイベントを誘致するに  
は地元の者の心構えも大切であ  
る。地元イメージが悪ければ

最後に、他県の人々に  
松山に行ってみよう」と  
持ちを起させようも  
く事が松山市の活性化に  
影響するものと考えられ

これは、平成三年度事  
て青年部広報紙の発刊を  
その名称を会員から募集  
たもので、広報委員会  
品の中から選定し正副会  
承を得て決定したものだ。  
この作品は、中井徳昭  
(永井団扇店)が応募し  
で「遊悠」とは「遊びの  
持つて、大きくゆっくり  
にはげもうという意味。  
尚、発刊にあたっての  
松山商工会議所榊田会頭  
いし、書いていただいた

**綱 領**  
青年部は  
全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い  
者として責任を自覚し  
発展の支えとなり  
創造をもって  
い郷土づくりに貢献する

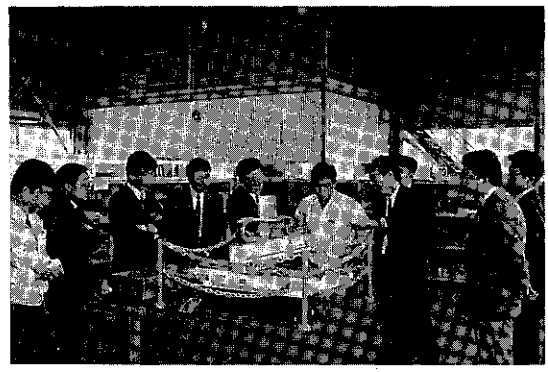
**指 針**  
青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう  
員であるべき 国際人としての教養を高めよう  
築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう  
つつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう  
を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の

**EG(ワイイージー)に決まる!**  
若き企業家集団の略称  
シンボルロゴマーク

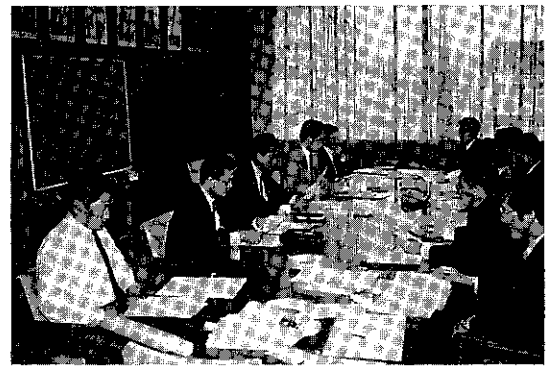
mark  
で使用されて  
下に、ゴシック  
ルで馴染み易  
ます。ロゴは、  
名 (Young  
oup)の頭文  
時に商工会議



事業意見交換会 (H3.3.10)

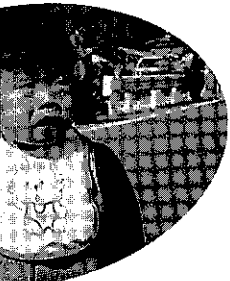


研修委員会(企業視察) 於 ㈱ヒカリ (H3.3.18)



広報委員会 於 松山商工会議所 (H3.3.13)

## 平成2年度事業報告



家族で楽しんだいちご狩り



青年部設立総会  
当所大ホールにて梶田会頭挨拶 (H2.4.4)



総務委員会 於 松山商工会議所 (H2.9.20)



チャリティバザール (H2.8.11~13)



事業委員会(企業視察) 於 松山酒販(株) (H3.3.20)



チャリティバザール (H2.8.11~13)



ふれあいバザールの様子 (H3.3.24)



商工会議所会員ふれあい事業(青年部店) (H3.3.24)

### 平成2年度松山商工会議所青年部収支決算書

自 平成2年4月 4日  
至 平成3年3月31日 (単位 円)

決算額	予算額	比較増減(△)
1,896,000	1,920,000	△ 24,000
129,000	0	129,000
400,000	400,000	0
182,622	0	182,622
2,607,622	2,320,000	287,622

### 平成3年度松山商工会議所青年部収支予算書

自 平成3年4月 1日  
至 平成4年3月31日 (単位 円)

収入の部			
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)
会費	1,920,000	1,920,000	0
特別会費	150,000	0	150,000
助成金	584,000	400,000	184,000
雑収入	5,000	0	5,000
前年度繰越金	697,286	0	697,286
合計	3,356,286	2,320,000	1,036,286

決算額	予算額	比較増減(△)
575,555	1,500,000	△ 924,445
410,956	370,000	40,956
534,290	250,000	284,290
389,535	200,000	189,535
1,910,336	2,320,000	△ 409,664
697,286	0	697,286

支出の部			
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)
研修会開催費	300,000	1,500,000	△1,200,000
役員会開催費	100,000	370,000	330,000
委員会開催費	600,000		
事業費	1,050,000	250,000	1,240,000
管理諸費	440,000		
総会開催費	400,000	200,000	200,000

# 役員今年抱負

副会長

横山 博幸



研修委員長  
野村 忠秀

副会長

大森 清志

総務委員長  
宮内 圭三



総務委員長  
宮内 圭三

おいてその上達成は基本にあると言  
分理解し会員相互の交流、親睦をより  
から始めましょう。各委員会において多  
ず参加して意見、お話しをお聞かせ下  
協力を得、さらに意義ある青年部とす  
、します。

副会長

上野 志郎

委員会活動につきましても、  
毎月の開催を基本に、会員企業  
の訪問等、積極的にやりたいと  
思っております。

青年部ですが、将来とても楽しみな青  
。私自身皆様に教えて頂く事ばかりで  
種多様な業種の将来を担う皆様と語り  
きな喜びです。  
態を超えて私達が持ち得る夢の実現で  
わず燃えて行く時に、すばらしい何か  
青年部を目ざして、お役に立てればと  
て実らせましょう。

副会長

大森 清志

事業委員会といたしましては、  
今期はまず平成二年度において  
八月の松山まつりチャリティー  
バザールと今年三月の会員ふれ  
あいバザールを行いました。平  
成三年度もこの二つを柱として  
実施したいと思えます。また委  
員会内での異業種交流を図って



事業委員長  
委員 長  
中下 元夫



広報委員長  
委員 長  
大亀 右問

松山商工会議所青年部がいよ  
いよ二年目を迎えました。私共  
広報委員会の事業と致しまして  
は、広報紙「遊悠」の発刊です。  
六月と一二月の年二回発刊予定  
で、今回が記念すべき創刊号と  
なります。又広報紙を通じて会  
員相互の親睦および情報の収集

## 青年部 構成図

会長 松井 逸材  
(株)観光センターまつやま

副会長 横山 博幸  
(株)アイキョウコンサルタント

副会長 上野 志郎  
(株)明堂

研修委員会

事業委員会

広報委員会

- ◎ 野村 忠秀 八紘開発(株)
- 大亀 裕 ダイキ(株)
- 内島 朝良 (株)フジ
- 伊狩 詩朗 (株)うつぼ屋
- 石井 津志 (株)石井商店
- 上田 潤治郎 愛媛ヤナセ(株)
- 小川 純人 フジリネンサプライ(株)
- 門屋 秀司 (株)御幸石油
- 栗原 勝寛 (株)栗原自動車
- 栗林 真人 栗林損害保険事務所
- 塩崎 恭久 今日社 松山営業所
- 嶋 潔 (株)嶋茶舗
- 清水 健吾 (株)清水建材店松山支店
- 清水 哲也 愛媛食量(株)
- 住田 樹保 (株)ユーノスエヒメ
- 田原 春統 (株)かつれつ亭
- 二宮 節文 (株)助格
- 田中 実 (株)リョーミ開発
- 福原 良明 (株)ふくはら
- 宮内 江一郎 (株)ヴァンサンカン

- ◎ 中下 元夫 (株)中下組
- 伊狩 泰介 (株)うつぼ屋
- 戸田 善丈 (株)松山酒販
- 池川 富雄 (株)池川ヨット工房
- 和泉 昇 (株)石材振興会
- 大西 浩司 (株)大廣建設
- 大野 健夫 (株)松山合板社
- 岡本 雅夫 (株)ツバメ屋
- 岡田 安志 (株)ビジネス企画
- 鴻海 俊平 (株)江戸茂薬局
- 佐賀 孝一郎 (株)衣山薬品
- 篠崎 克也 (株)まさこ屋買店
- 永尾 友幸 (株)ハ・ン・ズ
- 西元 計吾 (株)ロイヤルホテル
- 乗松 佳宏 (株)今出石油
- 二神 康三 (株)中予砕石(株)
- 藤岡 恵親 (株)時計・宝石フジオカ
- 政田 雅弘 (株)政田商店
- 村田 謙次 (株)四国製作所
- 吉田 (株)大和白衣(株)

- ◎ 大亀 右問 (株)大亀製作所
- 富田 耕治 (株)ヒカリ
- 二神 一誠 (株)二神組
- 坂野 俊一郎 (株)大栄電機工業
- 仙波 克彦 システムズえひめ(株)
- 真鍋 伸二 (株)伸栄設計
- 池川 晋一郎 (株)池川晋一郎事務所
- 今村 元春 東京海上火災保険(株)愛媛支店
- 大本 正 (株)オオモト
- 木谷 良二 (株)魚数
- 中井 徳明 (株)永井団扇店
- 中野 優 (株)中野会計事務所
- 永井 伸定 (株)伸協美容館
- 西岡 和則 (株)アリコ・ジャパン
- 日野 幸徳 (株)つちや産業(株)
- 本村 信行 (株)株トムラ商業建築事務所
- 柳尾 匡彦 (株)株松山広告センター
- 大和 正年 (株)大和設備企画事務所
- 渡部 正 (株)二神生コン(株)
- 渡部 哲 (株)三ツ浜汽船(株)

◎ 委員長  
○ 副委員長

- 大森 清志 (株)大森商機
- 委員会
- (株)飼料産業
- 色本店
- ホテル葛城
- 恵夢
- 原スター
- ートアイデア
- 保製粉所
- 藤舎
- 橋写真館
- 和新建材
- 商事(株)
- 産業(株)
- (株)
- 米穀店
- 川布団店
- 建設(株)
- 不動産ライフ通信(株)
- 田
- 寝具店
- リウマ

